あの人に聞かないと分からない

をなくす

プロジェクト・タスク管理術







多くのプロジェクト現場の声に耳を傾けると、下記のような課題が見えてきました

次のアクションが決まらない、報告のためだけの会議がある

状況報告の週報作成が非効率

担当者が明確に分けられていない

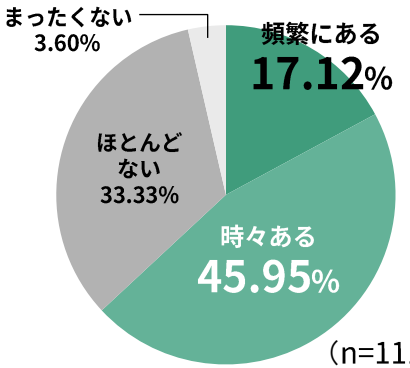


やり取りが口頭中心で、「言った・言わない」がよく起きる

特定メンバーしか見れないDMでやり取りされている

「これは誰の仕事？」と担当が曖昧な業務が発生し、対応が漏れてしまうことはありますか？

約63%が「ある」と回答



（n=111）

経緯の共有が不十分なまま、新規プロジェクトに放り込まれた

上司からは「勤務時間を減らせ」、部下からは「もっと効率化してほしい」



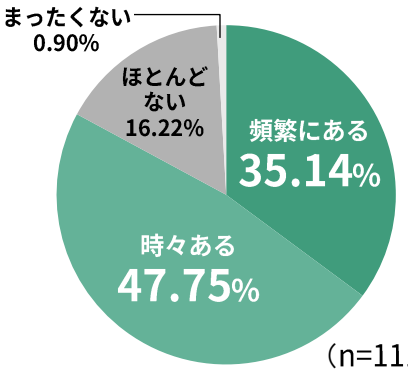
資料の共有ルールが曖昧で、業務がブラックボックス化

業務管理をExcelで行っており、一元化できていない

資料がどこにあるか分からない

情報や過去のやり取り、資料を探すのに時間がかかったり、どこにあるかわからなくなったりすることはありますか？

約83%が「ある」と回答



（n=111）

共通する原因は「タスクや情報管理の曖昧さ」

※参照：【調査レポート】チームのリアルな課題と解決策～マネージャーの人には言えないモヤモヤを大調査

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

なぜ「あの人に聞かないと分からない」が発生するのか？
― 個人の抱え込みと「ブラックボックス化」の壁 ―

原因は、業務の進捗やノウハウが
「個人の頭の中や手元」にのみ留まっていることにあります。

現状

情報が個人に依存する「ブラックボックス」の状態



問題点

属人化が引き起こす「業務の停滞」

- 担当者が不在だと業務がストップし、対応が遅れる
- 「あれどうなってる？」と都度人に確認する作業が本来の業務を圧迫
- 結果はわかるが、そこに至る経緯やノウハウ（プロセス）が見えない

セルフチェック

- ☑ 担当者が不在の際、業務の進め方が分からず作業がストップしてしまうことがある
- ☑ 「なぜこの進め方になったのか」といった過去の経緯を、特定のメンバーに毎回聞いている

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

属人化を解消する「管理のパラダイムシフト」

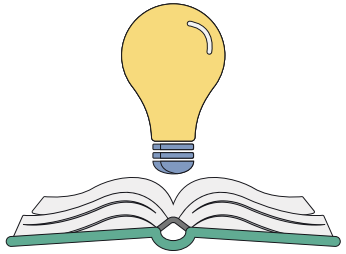
個人の頭の中にある情報を解放し、
誰でも常に「同じ状況・同じ経緯」を把握できる仕組みを構築する

状況の完全可視化



誰が・何を・どこまで進めているかを
オープンにし、担当者不在でも
状況がひと目でわかる環境を作る

経緯とナレッジの資産化



決定の背景やマニュアルを一箇所に集約し、
個人の記憶ではなく
「組織の共有資産」として蓄積する

情報の自己解決



システムが蓄積された情報を即座に
整理・提示することで、人に聞かなくても
自ら答えにたどり着く仕組みを作る

次のページから、**Backlogを活用した解決のヒント**をご紹介します！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

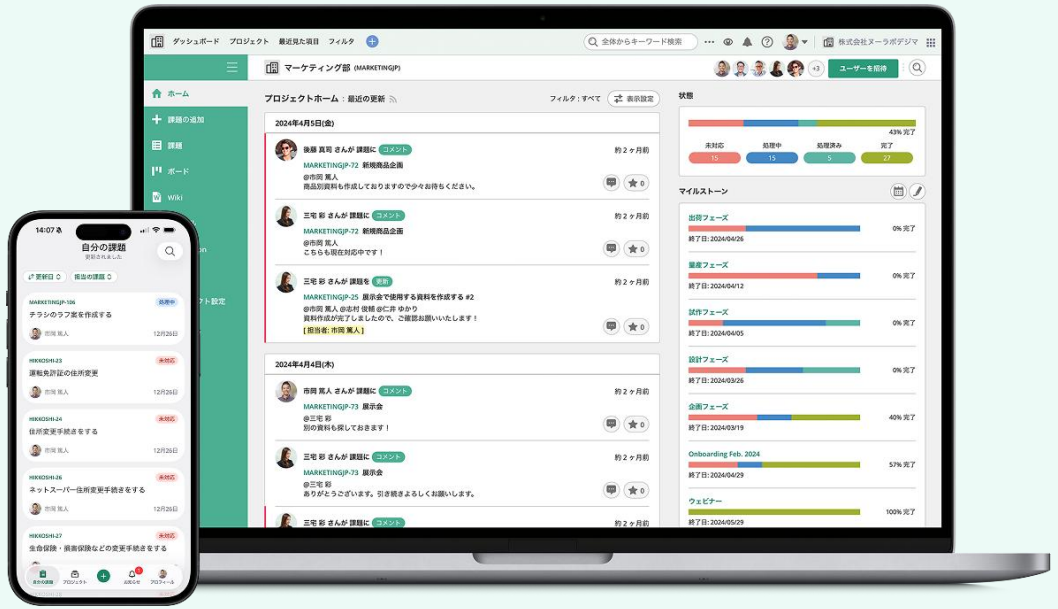
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

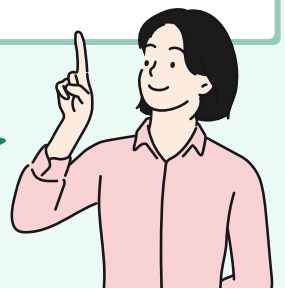
解決策 1 「誰が」「いつまでに」「何をするか」見える化する

使用する機能：「課題」「ガントチャート」



- 担当者、期限、タスク内容を「課題」として明確に登録できます
- 「課題」を登録すると、自動的に「ガントチャート」が生成され、状況を一目で確認できるようになります
- これら機能を用いれば、担当者の不在や異動・退職があった際も、状況を簡単に把握できるため、業務が止まりません

「人に聞かないと分からない」状態から、「Backlogを見れば分かる」状態へ。
チーム全体で業務を回せる環境を実現します。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「あの人に聞かないと分からない」

解決策 2　タスクに紐づいたコメントで経緯をオープンにする

使用する機能：「コメント」



- タスクごとにコメントが集約され、
  チャットツールのように会話が流れません
- 「なぜこの進め方になったのか？」といった
  経緯を残すことができます
- タスクの変更履歴も残るため、
  いつ・誰が・何をしたのか一目でわかります

業務の経緯や意思決定の背景が可視化され、マネジメント精度が向上します。

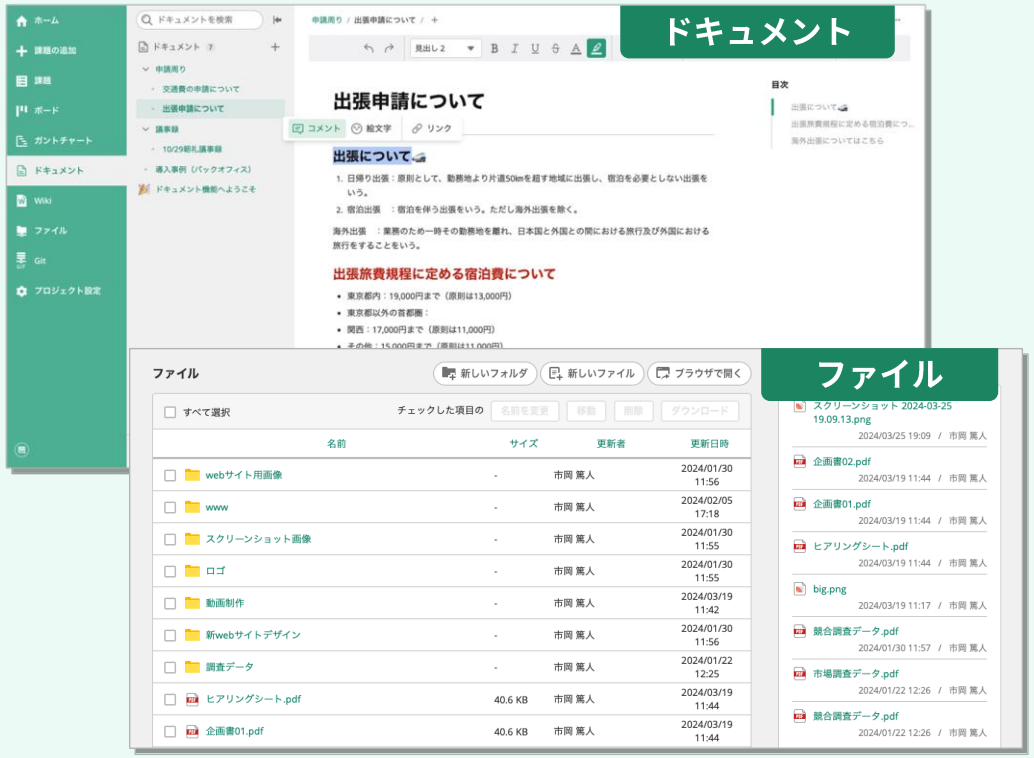


© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「あの人に聞かないと分からない」

解決策 3　マニュアルや資料を一元管理する

使用する機能：「ドキュメント」「ファイル」



- ドキュメントやファイルに業務手順やマニュアルを集約し、チームのナレッジを一箇所で管理できます
- ドキュメントは複数人で同時に編集できるため、会議の議事録や業務メモをその場で共有・更新できます
- 情報が蓄積されることで、担当者の異動や退職があっても、スムーズに業務を引き継ぐことができます

ノウハウを蓄積・共有することで、業務の再現性を高められます。

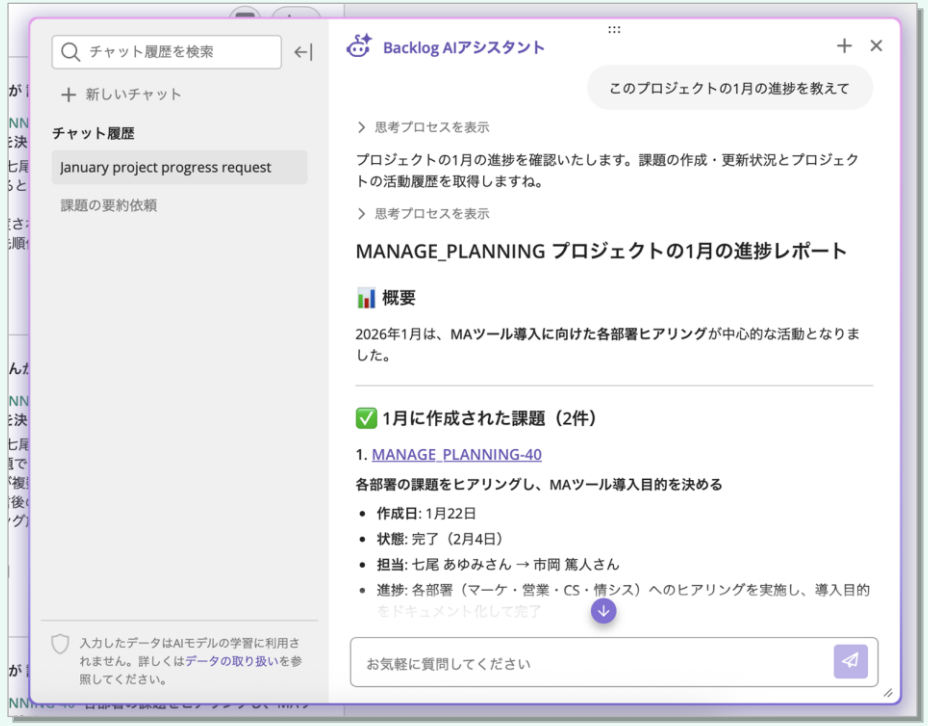


© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「あの人に聞かないと分からない」

解決策 4　AI活用で、より迅速に欲しい情報を引き出す

使用する機能：「Backlog AIアシスタント」



Backlog AIアシスタントに質問すると、
Backlogに入力された課題やドキュメントから
必要な情報を整理・要約して提示します

プロンプト例

- このプロジェクトの進捗をまとめて
- この課題のコメントを要約して
- ○○の手順を知りたい

Backlogに蓄積された情報を、AIが資産として活用できるようになります。
これにより業務の進捗やメンバーの動きが可視化され、
マネージャーにとってはリソースマネジメントや人事評価の判断材料として活用できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



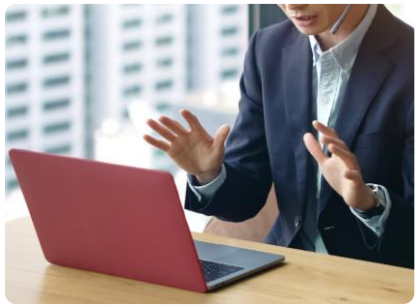
Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.